



(第1面)

## 産業廃棄物処理計画書

令和 5 年 4 月 25 日

茨城県知事 大井川 和彦 殿

提出者

住 所 茨城県行方市新宮 7 4 5

氏 名 藤崎建設工業株式会社

代表取締役 藤崎 政行

電話番号 0 2 9 9 - 7 3 - 2 1 2 3

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	藤崎建設工業株式会社 各作業所
事業場の所在地	茨城県行方市新宮 7 4 5 他
計画期間	令和 5 年 4 月 1 日～令和 6 年 3 月 31 日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	06 総合工事業
②事業の規模	15 億 5 千万円
③従業員数	18 人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none"><li>・がれき類(コンクリートがら, アスファルトがらを含む) 再生処理業者に委託して、再生砕石や再生骨材として再資源化</li><li>・紙くず, 金属くず 再生処理業者に委託して、再生材の原料として再資源化</li><li>・木くず 再生処理業者に委託して、チップや堆肥として再資源化</li><li>・その他 再生処理業者において一部再生材の原料とし、他は破碎した後、埋め立て処分場に埋め立てする。</li></ul>

(日本工業規格 A 列 4 番)

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排 出 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	排 出 量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)  ・ 各産業廃棄物それぞれを他の廃棄物に混入しないように確実に分別、保管する。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)  ・ 混合廃棄物について出来る限り、手作業により分別、保管する。

## (第3面)

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（                      年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和4年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

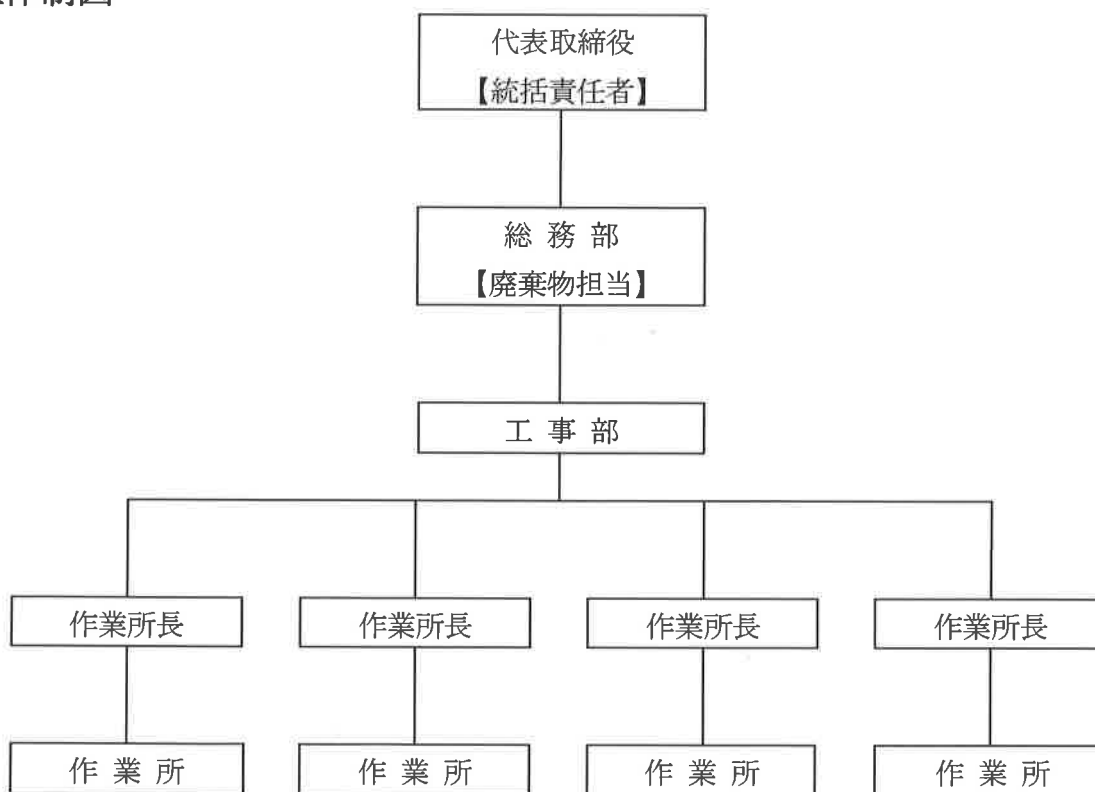
備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

## 産業廃棄物処理に係る管理体制に関する事項

統括責任者		藤崎建設工業株式会社 代表取締役 <span style="background-color: black; color: black;">XXXXXXXXXX</span>
廃棄物担当		総務部 2人
役割	統括責任者	廃棄物処理方針の策定 廃棄物処理に関する各種事項の決定・承認
	廃棄物担当	各作業所より提出された委託契約書等書類の管理・保管 各作業所より提出された廃棄物マニフェストの整理・集計 年間委託契約の締結 監督官庁への各種報告 廃棄物処理に関する各種事項の模索・提案
	作業所長	廃棄物処理計画の作成 廃棄物管理状況の把握と改善策の検討 処理業者・再生利用業者の調査・選定及び管理 委託契約の締結 廃棄物マニフェストの交付・管理 監督官庁への各種報告 作業員・関連会社に対する教育・啓発 その他関係する事項

## 管理体制図



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和4年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	その他がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	混合（安定型のみ）
	排 出 量	6,435.210 t	330.310t	28.770 t	38.880 t	23.030 t	19.500 t
	（これまでに実施した取組）						
②計画	【目標】						
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	その他がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	混合（安定型のみ）
	排 出 量	62.000 t	264.000 t	2.000 t	1.000 t	5.000 t	0.000 t
	（今後実施する予定の取組）						
②計画	・ 梱包材の簡素化						



## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和４年度）実績】						
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物 (安定型)	紙くず	木くず	繊維くず	廃石膏ボード	混合（管理型含む）
	排 出 量	9.620 t	2.100 t	378.120 t	0.270 t	18.060 t	58.266 t
②計画	（今後実施する予定の取組）						
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃棄物 (安定型)	紙くず	木くず	繊維くず	廃石膏ボード	混合（管理型含む）
	排 出 量	0.000 t	2.000 t	127.000 t	0.000 t	14.000 t	40.000 t

【前年度（令和4年度）実績】						
産業廃棄物の種類	水銀使用製品 産業廃棄物	廃石綿等				
排出量	0.110 t	2.940 t				
①現状 (これまでに実施した取組)  ・工法の改善 ・実寸発注の実施（木くず）						
【目標】						
産業廃棄物の種類	水銀使用製品 産業廃棄物	廃石綿等				
排出量	0.000 t	0.000 t				
②計画 (今後実施する予定の取組)  ・梱包材の簡素化						

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和4年度）実績】								
産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	その他がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	混合 (安定型のみ)		
全処理委託量	6,435.210 t	330.310 t	28.770 t	38.880 t	23.030 t	19.500 t		
優良認定処理業者への 処理委託量								
再生利用業者への 処理委託量	6,435.210 t	330.310 t	28.770 t			14.625 t		
認定熱回収業者への 処理委託量								
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量								
(これまでに実施した取組)								
・委託基準に従って産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施している。								
【目標】								
産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら	その他がれき類	ガラス・陶磁器くず	廃プラスチック類	混合 (安定型のみ)		
全処理委託量	62.000 t	264.000 t	2.000 t	1.000 t	5.000 t	0.000 t		
優良認定処理業者への 処理委託量								
再生利用業者への 処理委託量	62.000 t	264.000 t	2.000 t					
認定熱回収業者への 処理委託量								
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量								
(今後実施する予定の取組)								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・可能な限り優良認定処理業者から選定する。</li> <li>・再生利用、熱回収が可能である廃棄物については、再生利用業者、熱回収業者へ処理委託する。</li> </ul>								

【前年度(令和4年度)実績】

(これまでに実施した取組)

- ・委託基準に従って産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施している。

座

(今後実施する予定の取組)

- ・可能な限り優良認定処理業者から選定する。
- ・再生利用、熱回収が可能である廃棄物については、再生利用業者、熱回収業者へ処理委託する。

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度（令和4年度）実績】						
①現状	産業廃棄物の種類	水銀使用製品 産業廃棄物	廃石綿等			
	全処理委託量	0.110 t	2.940 t			
	優良認定処理業者への 処理委託量					
	再生利用業者への 処理委託量					
	認定熱回収業者への 処理委託量					
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量					
(これまでに実施した取組)						
・委託基準に従って産業廃棄物を委託できる業者を選定し、書面による契約を実施している。						
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	水銀使用製品 産業廃棄物	廃石綿等			
	全処理委託量	0.000 t	0.000 t			
	優良認定処理業者への 処理委託量					
	再生利用業者への 処理委託量					
	認定熱回収業者への 処理委託量					
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量						
(今後実施する予定の取組)						
・可能な限り優良認定処理業者から選定する。 ・再生利用、熱回収が可能である廃棄物については、再生利用業者、熱回収業者へ処理委託する。						